

大崎市誕生 20 周年・大崎市民ギャラリー緒絶の館開館 30 周年記念事業
特別展 かわいい 楽しい 江戸絵画 ―若冲・芦雪・蕪村―
プレスリリース



会期:2026 年 10 月 7 日(水)~10 月 18 日(日)

江戸絵画は、実はとってもチャーミング!?
珠玉の水墨画 (犬も鶴も布袋様も) 大集合!
若冲と芦雪と蕪村作品 20 点を東北初公開!

あの応募も
やってくる

このたび、大崎市民ギャラリーでは、江戸時代の「かわいい」「楽しい」表現に注目し、難しいと思われがちな日本美術を身近に感じることでできる展覧会を開催します。作品は江戸時代に京都で活躍した絵師・伊藤若冲(いとうじゃくちゅう)、長沢芦雪(ながさわろせつ)、与謝蕪村(よさぶそん)の東北初公開となる作品ばかりです。近年、若冲を筆頭とする江戸絵画ブームが続いており、京都や大阪、東京を中心に、展覧会が開催され、何万人も会場に足を運んでいます。一方で、東北地方での若冲・芦雪・蕪村の展覧会開催は震災復興を目的として数回開催されるにとどまっています。このような状況のなかで開催する本展は、まさに、稀有な機会といってもよいでしょう。

江戸時代に生きた絵師たちがどのような経緯で作品を描き、如何にして豊かな表現を生み出してきたのかを辿り、時代を超えて愛される江戸絵画の魅力に迫ります。江戸絵画をこよなく愛する方はもちろん、美術鑑賞がはじめての方にも、その魅力を存分に感じていただける機会です。この秋、とびっきり贅沢で、「かわいい楽しい」な 12 日間を、ぜひ、大崎市民ギャラリーでご体験ください。

みどころ

本展覧会の見どころは、なんといってもすべて東北初公開という点に尽きます。ご覧いただく作品は、若冲作品を14点、芦雪作品を4点、蕪村作品を2点、円山応挙の画帖1点と、限られた点数ではありますが、それゆえに一つ一つの作品を心ゆくまでじっくり堪能できる贅沢な時間となることでしょう。

思わず「かわいい！」と顔がほころぶ、若冲の鶴や芦雪のまるまるとした子犬、「楽しい！」と心が弾む、若冲の大胆な構図や蕪村の詩情豊かな世界観。本展では、江戸の巨匠たちが描いた「愛すべきものたち」を一堂に集めました。

作家紹介

伊藤若冲 Ito Jakuchu



伊藤若冲《雨樋に雄鶏図》(部分)18世紀 個人蔵

代表作《動植綵絵》は**国宝**指定
令和の**日本美術ブーム**の火付け役

〈略歴〉

1716年 京都の青物問屋の長男として誕生。

1738年 家督を継ぐ。家業の傍ら、絵を描く。

1755年 40歳で弟に家督を譲り、画業に専念。

1758年頃から約10年をかけ、《動植綵絵》完成。

1765年 《釈迦三尊像》3幅と《動植綵絵》24幅(のうち30幅)を相国寺に寄進。

1800年 85歳で死去。

江戸絵画の**かわいい**先駆者
いぬやねこの作品で有名な絵師

〈略歴〉

1754年 山城国(現在の京都府)に、淀藩士の子として誕生。

1778年頃 円山応挙に弟子入り。頭角を現すが、自由奔放な性格で破門されたという逸話も残る。

1781年 『平安人物志』に掲載され、京都の著名な絵師として認められる。

1799年 46歳で大坂にて客死。

長沢芦雪 Nagasawa Rosetu



長沢芦雪《梅花双狗図》(部分)18世紀 個人蔵

与謝蕪村 Yosa Buson



俳人として知られ、**絵**も描いた
詩情あふれる世界を描く絵師

〈略歴〉

1716年 摂津国(現在の大阪市)に生まれる。若冲と同年。

1737年 20歳頃に江戸へ下り、俳諧を学ぶ。放浪の旅を続けながら各地で画技を磨く。

1751年 各地を放浪した後、京都に定住。絵師として活躍。

1783年 68歳で死去。

展覧会概要

会期	令和 8 年 10 月 7 日(水曜日)～10 月 18 日(日曜日)
休館日	会期中無休
開館時間	午前 10 時～午後 5 時まで(最終入館は午後4時30分まで) ※土曜日・日曜日・祝日のみ午前 9 時より開館
会場	大崎市民ギャラリー緒絶の館(をだえのやかた) 〒989-6154 宮城県大崎市古川三日町一丁目1番1号
主催	大崎市教育委員会
後援	河北新報社・大崎タイムス社・大崎市文化協会
助成	公益財団法人カメイ社会教育振興財団(仙台市)
観覧料	〈日時指定予約制〉 9月14日午前 10 時から大崎市 LINE 公式アカウントで予約・購入できます。 一般 1,000円 小・中・高校生 500円
関連イベント	①監修者による講演会 爆笑トーク 心ときめく♥江戸絵画入門 10 のキーワードで徹底解説 日時:10 月 11 日(日)午前10時～(90 分程度、開場:午前9時30分) 会場:地域交流センター〈あすも〉多目的ホール 講師:岡田秀之氏(若冲研究者、福田美術館 学芸課長) 定員:100 名(先着順) 参加無料、予約不要 ②江戸絵画に親しむワークショップ ミニ掛け軸をつくってみよう 日時:10 月 17 日(土)午前10時30分～(90 分程度) 会場:地域交流センター〈あすも〉2階 研修室 定員:10名(9月28日(月)午前9時から電話にて受け付け開始)、参加無料 ※申込は大崎市民ギャラリー(TEL:0229-21-1466)まで 対象:小学生～中学生まで(小学校2年生までは保護者同伴必須)



特別展ウェブページ



市 LINE 公式アカウント

大崎市教育委員会生涯学習課

大崎市民ギャラリー緒絶の館(をだえのやかた)

〒989-6154 宮城県大崎市古川三日町一丁目1番1号

TEL 0229-21-1466 FAX 0229-22-6010

e-mail: f-gallery@city.osaki.miyagi.jp

大崎市民ギャラリー緒絶の館ってどんなところ？

万葉時代から詠まれている歌枕「緒絶橋」に隣接

し、慶応年間建造の酒蔵を利用した展示室も併設した趣のあるギャラリーです。展示室は絵画、彫刻、書、写真、工芸などジャンルを問わずに利用でき、さまざまな美術展の鑑賞や市民の創作活動の発表の場として親しまれています。地域ゆかりの作家による書や絵画作品を中心に、340点の作品を所蔵しています。自主文化事業として、毎年所蔵作品展や子供向けワークショップ、企画展などを実施しています。



これまでのあゆみ

平成 4年 市民の要望により、慶応年間に建てられた酒蔵を利用した「旧・緒絶の館」を開館。

平成 7年 旧国土庁の地域個性形成事業(由緒ある地域を媒体とした新たな地域おこし支援事業)の適用を受け、蔵のある景観を活かし「旧・緒絶の館」に隣接した新たなギャラリーを建設。

平成 8年 8月、古川市民ギャラリー緒絶の館オープン。

平成18年 3月31日、市町村合併により旧古川市は大崎市となり、現在の「大崎市民ギャラリー」に名称を変更。

令和 8年 開館30周年を迎える。

主な企画展

平成 8年 宮城県美術館移動美術館・近代の人間像

平成11年 朝倉文夫展

平成13年 東京藝術大学卒業制作 台東区長賞展

平成15年 東海道五拾三次浮世絵展

平成19年 人間国宝・芹沢銈介展

平成28年 人のかたち～福島県立美術館所蔵作品より～

令和 2年 洲之内コレクション展 などの美術展、その他、県内の作家を中心とした独自の企画展を毎年開催。

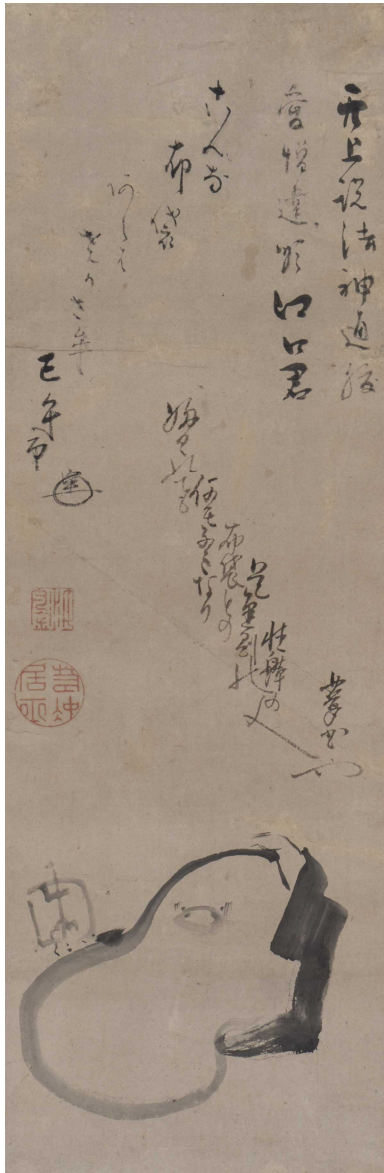


◀市民ギャラリー公式 X では
展覧会やワークショップの様子を
随時発信中

プレス用画像

※広報画像に関する申請やお問合せなどありましたら、下記までご連絡ください。

いずれも東北初公開！



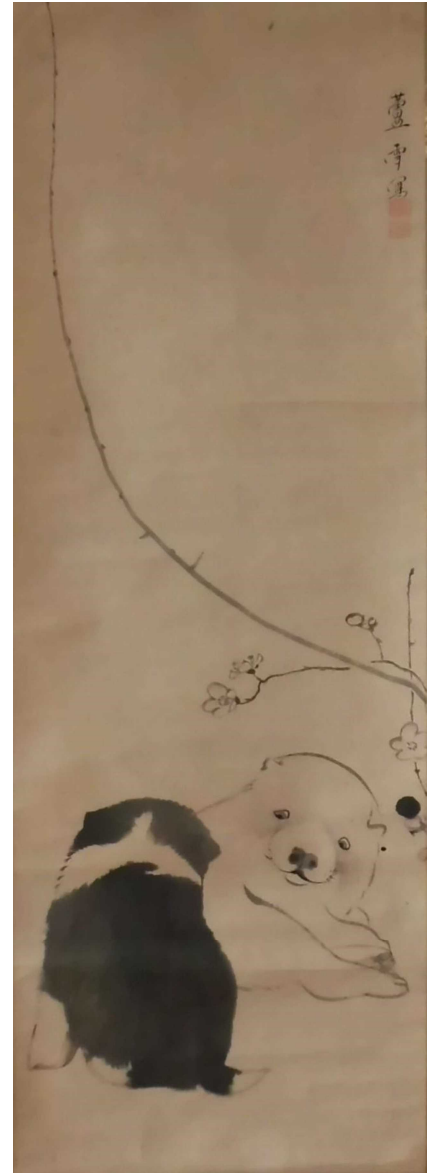
伊藤若冲 画 伊藤白歳 賛
《布袋図》18 世紀 個人蔵

99 年前に公開されて以降行方不明になっていた《布袋図》。誇張されて描かれた布袋様の上部には、若冲が家督を譲った弟白歳の賛がある。



伊藤若冲《菊図》18 世紀 個人蔵

岩の間から、満開の菊が咲いている様子が、怪しく幻想的に描かれています。水分の多い淡墨を隣り合わせに置くことで、墨と墨の境界線に白く細い筋を残す水墨画の技法筋目描(すじめがき)が光る一作。



長沢芦雪《梅花双狗図》18 世紀 個人蔵

梅の枝が大胆に伸び、その下でリラックスした表情を見せる子犬。芦雪の遊び心による構図の工夫とやわらかな子犬の存在感が魅力的な作品。

大崎市教育委員会生涯学習課

大崎市民ギャラリー緒絶の館(をだえのやかた)

担当:井上・阿部

〒989-6154 宮城県大崎市古川三日町一丁目1番1号

TEL 0229-21-1466 FAX 0229-22-6010

e-mail: f-gallery@city.osaki.miyagi.jp